

## 第30回佐賀県青春寮歌祭報告

11月19日(土)13:00～佐賀市交流センター「エスプラッツホール」にて、第30回佐賀県青春寮歌祭が開かれました。コロナ禍で規模を縮小し、座席を半減して開催にこぎつけた主催者である北海道大学同窓会佐賀県支部大宅公一郎氏の思いのこもったあたたかい会となりました。この会は旧制高等学校と其れに関連する新制大学が合体し私立大学も参加する「佐賀方式」と呼ばれるものだそうです。この寮歌祭の目的として「母校の持つ歴史、教育、文化、スポーツなどの資源を佐賀に持って」（大宅氏御礼の辞より）くる取り組みも行われ骨太の会になっていることを感じました。恵迪寮九州北からは明官氏、三浦氏と私押場が参加してきました。

北大の「都ぞ弥生」からスタートし最後の早稲田まで14団体が参加し、大学の歌とともに学校の近況報告を行い、会は16:00に修了。

その後合同懇懇親会を会場に机といすを並べかえて行いました。三浦氏と押場が引き続きお邪魔させていただきました。総勢30数名が参加され、主に九州工業大学、佐賀大学の同窓の方々でした。銘酒「鍋島」や佐賀大学農学部が作ったお酒「悠々知酔」も並べられ、酔いのまわる中、全員自己紹介をゆっくり行っただけですが、皆さん大宅氏への感謝の言葉を述べられていたのが印象的でした。

今年度までは北大大宅氏を中心に実務を担ってきた会も来年からは、持続可能な寮歌債とするために有志を募って実行委員会方式で行われるとのこと。ただ日程はもう決まっております。11月25日(土)とのことでした。

11月23日 恵迪九州北幹事 昭和61年入寮 水産学部 押場昭人

最初に北大の登場「都ぞ弥生」斉唱



最後の発表校「早稲田大学」のあと締め挨拶をする大宅氏



会場。手前が北大



懇親会。大宅氏の挨拶



おまけ 美味しかった佐賀大発の発砲日本酒